

産学融合先導モデル拠点創出プログラムの採択について

令和2年9月14日

令和2年9月11日付けで、北海道エリアの「チャレンジフィールド北海道」（代表幹事機関：ノーステック財団）が、経済産業省の令和2年度新規事業である「産学融合先導モデル拠点創出プログラム」に採択されました（全国2拠点）。

北海道は、人口減少などの数多くの課題や新型コロナウイルスによる試練に直面しています。一方で、アフターコロナにおけるリモート・分散型社会への移行が見込まれるほか、宇宙など成長産業の芽が生まれています。

この事業では、道内の8つの大学等の知を結集し、豊かな食・エネルギー資源などの北海道の特性を生かして、産学融合によるイノベーション創出を加速化し、豊かさを実感できる社会の構築にチャレンジします。

《今回の事業のポイント》

- ・ 大学等を起点とする産学融合によるオープンイノベーションの深化・拡大
- ・ 理系の国立大学・国研、AI 研究拠点の公立2大学など、8つの主要大学等を含め、産学官金など25機関が参画するオール北海道の体制
- ・ ビジョン共有による社会課題解決・価値創出を目指し、食や再生可能エネルギーの活用、地域交通のスマート化などに加え、宇宙ビジネスやスタートアップの創出を総合的に推進
- ・ 本プログラムの全体マネジメントを行う総括エリアコーディネーターとして、産学連携や研究開発に関する豊富なマネジメント実績のある民間人材を配置

《事業の概要》

- 1 創出エリアの名称 チャレンジフィールド北海道
- 2 代表幹事機関 ノーステック財団（(公財)北海道科学技術総合振興センター）
- 3 参画機関 25機関（代表幹事機関を含む）

種 別	参 画 機 関
大学・国研 (8 機関)	北海道大学、小樽商科大学、帯広畜産大学、北見工業大学、室蘭工業大学、公立はこだて未来大学、札幌市立大学、産業技術総合研究所
自治体・支援機関 (13 機関)	北海道、札幌市、北海道立総合研究機構など
経済団体等 (4 機関)	北海道経済連合会、(株)北洋銀行、(株)北海道銀行、北海道ベンチャーキャピタル(株)

- 4 総括エリアコーディネーター 山田 真治（(株)日立製作所）
- 5 重要課題及び推進計画 別表のとおり
- 6 事業実施期間 交付決定の日から5事業年度以内

【参考】

経済産業省発表資料

<https://www.meti.go.jp/information/publicoffer/saitaku/2020/s200911001.html>

【お問い合わせ先・発信元】

ノーステック財団（(公財)北海道科学技術総合振興センター）

産学連携支援部 担当 中西・鈴木・小林

TEL 011-708-6536 FAX 011-708-6529 E-mail sangaku@noastec.jp

別表

重要課題（マテリアリティ）	推 進 計 画
農林水産業やものづくり産業の生産性・競争力の向上	○産業技術による北海道の農林水産業の効率化推進
	○高付加価値鋼材の資源循環型サステナブル未来素材供給基地形成（高品質スクラップを活用した特殊鋼材の開発と共同受注体制の構築）
	○道産品のグローバルな競争力向上を目指す域外出荷強化計画
地域社会のスマート化・再生可能エネルギーの活用	○SAVS (Smart Access Vehicle Service) の地域展開とサービス連携（AIを活用したフルオンデマンドの乗合可能な新交通サービス）
	○地方都市圏への MaaS (Mobility as a Service) の社会実装
	○地域の再生可能・自立型エネルギーシステムの構築
環境との両立による持続的な食料供給	○ビッグファーマーズと共創する植物油由来資源利用活性化（植物油の原料となるエゴマなどを素材とした6次産業化）
	○農・畜・水産融合型資源活用システムの構築
	○北海道天然資源の利活用による新産業の構築（脳機能の維持に資する機能性食品素材の開発）
	○脱炭素を実現するサステナブル醸造研究教育拠点（CO ₂ 回収活用型のワイン醸造等の研究・人材育成）
宇宙、農業、デジタルバイオなどの成長産業化・スタートアップの創出	○産学連携による航空宇宙システムイノベーション
	○宇宙ビジネスの成長産業化（北海道宇宙関連ビジネス創出連携会議との連携）
	○スタートアップの創出（札幌・北海道スタートアップエコシステム推進協議会との連携）